

株主の皆様へ

第110期 中間報告書

2024年1月1日 ▶ 2024年6月30日

JUKI 株式会社

証券コード：6440

TOP MESSAGE



代表取締役社長
成川 敦

新たなチャレンジにより、 サステナブルなJUKIの創出を目指します。

当中間連結会計期間における世界経済は、ロシア・ウクライナ紛争の長期化や中東紛争の継続等の地政学リスク、資源高や世界的なインフレ等による諸コストの高騰、中国経済の回復遅延や投資活動の抑制、新興国における外貨不足など、依然として先行き不透明な状況が続いています。

こうした中、当社グループにおきましては、販売面における中国の回復の遅れと欧米の伸び悩みおよび工場稼働効率改善のための売上・生産平準化施策の影響により、売上高は前年同期比2.5%増の458億円に留まりました。なお、財務体質健全化の観点から、生産調整を含む在庫削減を継続するとともに、販売価格の安定化にも努めました。利益面では、中国、米国、タイの販売会社の統合等を実施するなどコスト構造改革により固定費を削減したものの、在庫削減のための生産調整および追加コストなどにより、中間期経常損失は21億円となりました。

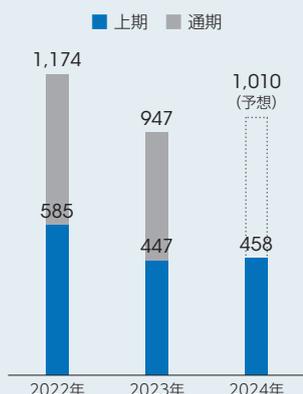
当社を取り巻く厳しい事業環境は続いておりますが、今下期は主力の工業用ミシン事業において、中国、アジアでの売上回復と米国での車載関係の伸びが期待でき、また、自動化需要の高まりを受けIoTプラットフォーム事業も順調に拡大する見込みです。

今後は、早期に業績を成長軌道に乗せるとともに新たなチャレンジにより、将来のスリムで高効率な事業構造の構築やESG経営を基盤とした環境負荷低減の取り組みと製品開発等を推進し、JUKIをサステナブルな企業にする取り組みを強化してまいります。

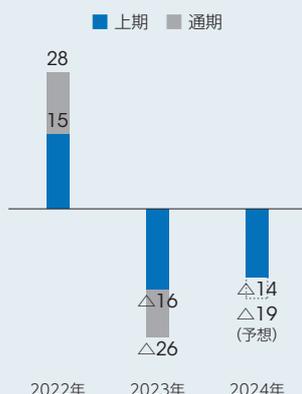
株主の皆様には、今後とも変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

財務ハイライト

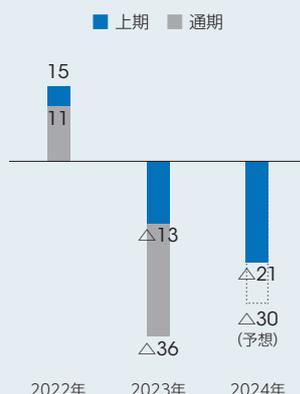
売上高 (億円)



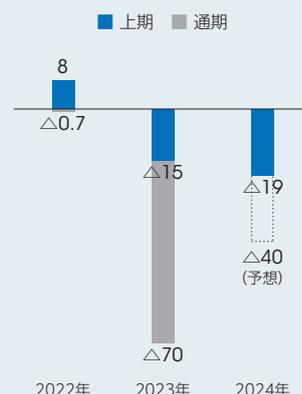
営業利益 (億円)



経常利益 (億円)



親会社株式に帰属する 当期純利益 (億円)



145円/ドル

[2024年12月期通期連結業績予想の見直しについて]

売上: 産業装置事業における中国市場の回復の遅れや、工場稼働安定化のための売上標準化施策を背景として当初予想より10%程度減少する見通しです。

利益: 売上減少の影響や在庫削減のための追加費用等があり、通期の業績予想について当初予想を下回る見込みです。

以上を踏まえ通期連結業績予想の見直しを行い、売上高1,010億円、営業損失19億円、経常損失30億円、当期純損失40億円に修正しております。

また、期末配当につきましては、上記の通期連結業績予想を踏まえ無配とさせていただきます。

株主・投資家
情報については
こちら



TOPICS

01

高速フレキシブルマウンタLX-8が 2024年度 機械工業デザイン賞 IDEA「最優秀賞 (経済産業大臣賞)」を受賞

「LX-8」は、2ヘッド仕様でクラス最高の高速搭載と、省スペースながら高い面積生産性を実現した高速フレキシブルマウンタです。

近年、多くの電子機器は、高性能化と小型・軽量化を両立させた高密度実装やIoTデバイスの増加による様々なセンサー、そして通信機器の表面実装技術が必要とされており、EVやロボットなど新しい産業にも広がっています。また環境配慮の観点から多品種少量や変種変量など、無駄のない生産方式への対応が重要視されています。その一方で生産現場では製造コスト、従業員不足といった課題に直面しています。こうした生産性向上のみならず、省人化、脱技能化、環境配慮といった社会課題への解決に向けて積極的に取り組んでいる点を評価いただきました。



IDEA「最優秀賞」を受賞したLX-8



表彰楯とブロンズ像



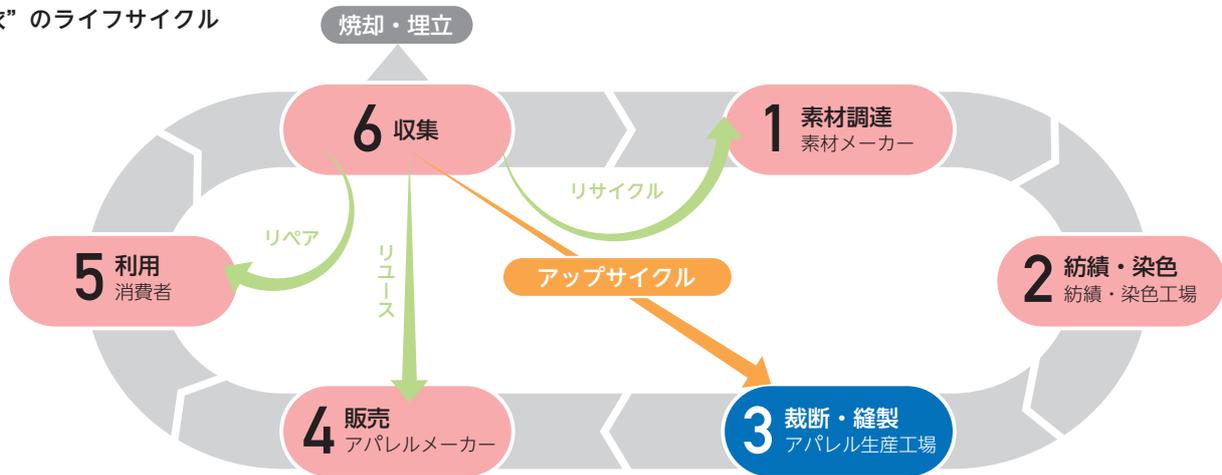
経済産業大臣賞を受賞する
JUKI 会長 清原 晃

機械工業デザイン賞IDEAについてはこちら



当社は、人々の生活に欠かせない「衣食住」に携わる企業として、「サステナブルな“衣”」を実現するための取り組みを展開しています。“衣”のライフサイクルの一部である「裁断・縫製」で使用されるミシンをサステナブルな製品にするため、環境に最大限配慮した製品づくりや廃棄削減の取り組み、古着や廃材を活用するアップサイクル活動を社内外で展開するなど地球環境と共存する企業であることを目指します。

“衣”のライフサイクル



“JUKI Green Rewards Program”の取り組み

お客様が使用した工業用ミシンおよび産業装置を回収し、当社技術で再生したものを“再生品”として販売する“JUKI Green Rewards Program”を実施しています。当プログラムの実施により、製品ライフサイクルの見える化と製品廃棄の削減による環境負荷を低減することで、循環型経済構築とカーボンニュートラルの実現に貢献します。



古着や廃材を活用する“JUKIアップサイクル活動”の展開

当社は、役割を終えた古着や廃材を価値のある新しいものに再生する活動として「アップサイクル」に着目し、2021年から社内イベントを開催してきました。2023年にはJUKIの取り組みに賛同する16ヶ所の協力ミシン店を「JUKIアップサイクルソーイングスタジオ」と名付け、ともにアップサイクルの活動を全国へと広げる活動を始めました。

これまでアップサイクルソーイングスタジオでは、家庭の中で眠っている服や不要となった生地を使ってボトルケースを制作するワークショップなどを開催しました。今後も協力ミシン店をさらに増やし、全国でアップサイクル活動の取り組みを進めていきます。



「古着や端切れを使ったボトルケース」ワークショップとその作品

グッドデザイン賞を受賞した家庭用小型ロックミシン「MO-3000/2800」は、自分のやりたい操作がすぐにできるUX/UI*の要素や、ロックミシン特有の複雑で難しい上下ルーパー糸通しを簡単にできる「イージースレッダー（自動ルーパー糸通し）」を搭載し、各所に世界トップクラスのJUKI工業用ミシンの技術を採用しています。生地や糸の廃棄削減にもつながる、環境に配慮した機能を盛り込んでいます。

ロングライフデザイン賞を受賞した職業用本縫いミシン「SL-700EX」は、近年のハンドメイド市場の需要に応え、1台のミシンで薄物から厚物まで安定した可縫性の高さを誇るミシンです。プロの道具として考え抜いた外観やフレーム構造の起点は、1990年に発売した職業用本縫いミシンTL-90にあり、34年間デザインを継承し続けているミシンです。34年間デザインを継承し続けたのは、ご家庭でも使いやすいように軽量ポータブル化していること、広いフトコロを維持しつつ視認性を高めた実用的なデザインであること、またJUKI工業用ミシンの「自動糸切り」機構を職業用本縫いミシンに搭載していることなど、お客様に常に愛されている機能を維持することに意義があると考えたからです。

* UX：ユーザーエクスペリエンス（ユーザーが製品・サービスを通じて得られる体験）の略称
UI：ユーザーインターフェース（ユーザーの目に触れ、使用する箇所すべてのこと）の略称

LONG LIFE DESIGN AWARD



職業用本縫いミシンSL-700EX



1990年に発売した職業用本縫いミシンTL-90

GOOD DESIGN AWARD 2023



家庭用小型ロックミシン MO-3000/2800シリーズ



グッドデザイン賞
についてはこちら



会社情報 (2024年6月30日現在)

会社概要

商号	JUKI株式会社
創立	1938年12月15日
資本金	180億4,471万円
本社	東京都多摩市鶴牧二丁目11番地1
決算期	12月
営業品目	工業用ミシン／産業装置／家庭用ミシン他
従業員数	4,713名（連結）
連結子会社数	25社

役員 (2024年7月1日現在)

代表取締役会長	清原 晃
代表取締役社長	成川 敦
取締役 財務担当役員	内梨 晋介
社外取締役	長崎 和三
社外取締役	堀 裕
社外取締役	渡辺 淳子
常勤監査役	鈴木 正彦
社外監査役	二瓶 ひろ子
社外監査役	竹中 稔
社外監査役	米山 貴志

株式の状況

発行可能株式総数	80,000,000株
発行済株式総数	29,874,179株
株主数	17,302名

大株主

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	3,701	12.45
株式会社PEGASUS	1,045	3.52
株式会社みずほ銀行	938	3.15
日本生命保険相互会社	732	2.46
朝日生命保険相互会社	569	1.91

(注) 持株比率は自己株式(136,691株)を控除して計算しております。

所有者別株式分布状況

